

研究に関するお知らせ

一 国立がん研究センターの「 ^{11}C コリンを用いた PET 検査の有用性の検討の研究」

にご参加いただいた研究対象者の方へ

研究期間: 医学部倫理委員会審査承認後 ～ 2025 年 3 月 31 日

この度、乳癌の画像所見・病理所見および長期予後の関連を調査する研究を行うことになりました。研究対象となる方の検査結果を本研究のために使用させていただきます。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。

研究対象となる方で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力いただけない場合でも、不利益が生じることはありません。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

【研究課題】 承認番号 M2023-210 番: 乳癌の Choline PET/CT、病理所見および長期予後の関連に関する研究

【研究目的】 乳癌における、Choline PET の集積、手術標本におけるコリンキナーゼアルファ ($\text{CK}\alpha$) の発現強度、および長期予後の関連を調査します。

【研究意義】 コリンキナーゼ (CK) は細胞分裂において重要な役割を果たす酵素です。特にコリンキナーゼアルファ ($\text{CK}\alpha$) と呼ばれるサブタイプは、発癌機構に強く関連すると言われています。また、Choline PET は悪性腫瘍の検出や治療効果判定に用いられる検査です。過去の研究では、乳癌において、Choline PET の集積と細胞分裂の程度に相関関係があると言われています。

今回我々は、Choline PET の集積と $\text{CK}\alpha$ の発現にも相関関係があるのではないかと仮説を立て、データを解析します。また、これらの所見と手術後の予後についても、相関関係を調べます。

【対象・研究方法】 国立がん研究センターで「 ^{11}C コリンを用いた PET 検査の有用性の検討の研究」にご参加いただいた研究対象者の方を対象と致します。PET/CT の検査データ、手術標本の病理データを国立がん研究センターから提供して頂き、東京医科歯科大学の研究者がデータの相関関係を解析します。また、手術後の臨床情報から、上記データと乳癌による死亡数の相関関係を解析します。

提供していただく情報: 研究対象者の年齢、初診日からの生存期間、乳癌による死亡の有無、 ^{11}C -Choline PET/CT の実施条件 (投与量) および結果 (病変への集積)、乳癌の大きさ・左右および部位、組織型

$\text{CK}\alpha$ の発現強度および一般的な病理所見

【個人情報の取り扱い】 国立がん研究センターより、匿名化された情報を受け取ります。

利用または提供開始日: 2024 年 1 月 1 日 資料・情報管理責任者: 立石宇貴秀

【研究資金および利益相反】 本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施する

にあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。

※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 立石 宇貴秀 東京医科歯科大学病院 放射線診断科・教授(対応可能時間帯 平日 9:00~17:00)

住所：〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45 TEL:03-5803-5311(医局)

苦情窓口： 東京医科歯科大学医学部総務係 03-5803-5096(対応可能時間帯 平日 9:00~17:00)